

ミクロ経済学		准教授 小松原崇史	
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門 選択科目, 会計ファイナン スコースの専門選択科目, 経営・経済コースの専門選 択科目, 教職科目	科目ナンバリング	23222202 25320217

1. 授業のねらい・概要

ミクロ経済学についての基本的な考え方を説明する。経済についての一般的な法則を見出そうとすることが、ミクロ経済学の目指していることである。本科目の履修にあたっては、「経済学基礎」を履修済みであることが望ましい。

2. 授業の進め方

講義形式で授業を行う。講義の理解を深めるため、問題演習を行うこともある。学生の理解度に応じて、以下の授業計画は、多少変更する可能性がある。

3. 授業計画

1. ミクロ経済学とは	9. 多数の企業からなる市場の分析① 需要の変化
2. 需要と供給	10. 多数の企業からなる市場の分析② 供給の変化
3. 価格の決定	11. 多数の企業からなる市場の分析③ 分析の意義
4. 需要曲線の意味	12. 二社からなる市場の分析① 価格の決定
5. 需要の価格弾力性	13. 二社からなる市場の分析② 競争の結果
6. 供給曲線の意味	14. 二社からなる市場の分析③ 分析の意義
7. 供給の価格弾力性	15. 後半のまとめと復習
8. 前半の復習	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講後、その回の内容を復習する。そのためには、毎週2から3時間程度が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

解答を試験終了後に掲示する。

6. 授業における学修の到達目標

ミクロ経済学についての基本的な考え方が理解できるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

期末試験（100%）により評価する。

8. テキスト・参考文献

参考書として、N・グレゴリー・マンキュー著『マンキュー経済学 I ミクロ編（第3版）』2013年、東洋経済新報社を使用する。

9. 受講上の留意事項

私語を厳禁とする。守れない学生に対しては、直接注意を行い、改善が見られない場合には退出を求める。